



【医学用語解説】

本病態は文字通り膝蓋骨（お皿の骨）が脱臼もしくは亜脱臼するもので、圧倒的に女子に多く発生し、骨格の先天性素因が深く関係します。そのほとんどが外側に（亜）脱臼し、膝関節外傷、膝関節障害として発症します。膝屈伸時、膝蓋骨は内外の大腿骨（太ももの骨）顆部が形成する溝を滑りますが、その溝が生まれつき浅い人は膝蓋骨との噛み合わせ（適合性）が悪く、膝蓋骨は容易に溝から脱線します。またX脚傾向の人はQアングルと言って大腿四頭筋と膝蓋腱の角度がきついため起こしやすいと言われています。

軽度のものは装具療法等で治療可能ですが、完全脱臼は剥離骨折を伴う関節血症（関節内に血が貯まる）となり、再発予防手術が必要です。